



園地の病害虫の発生状況をよく確認し、適切な防除を行ないましょう。

また、薬剤は丁寧にたっぷりと散布しましょう。

## 病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

### 共通注意事項

- 1.隣接園(特に今後収穫期を迎える作物)に飛散しないよう十分注意してください
- 2.散布後は、タンク内や散布器具の洗浄を十分に行ない、薬液が残らないよう注意する。

### ●9月上旬の散布(着色開始期前:9/1~7)

散布薬剤	水	100ℓ	散布日	9月	日
	展着剤	10mℓ		散布量	ℓ
	キノド一颗粒水和剤	100g(14日前、5回)			
	劇モスピラン颗粒水溶剤	25g(前日、3回)			
対象病害虫	炭疽病、うどんこ病、アザミウマ類、カキノヒメコバイ、カキノヘタムシガ、カメムシ類、カイガラムシ類				
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する				
備考	●モスピラン颗粒水溶剤は劇物登録農薬です。 農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。				

### ●特別散布

散布時期	: 10月上中旬 (水100ℓあたり)	散布日	10月	日
散布農薬	: 展着剤 10mℓ トップジンM水和剤 100g (前日 6回)		散布量	ℓ
対象病害虫	: うどんこ病 炭疽病			
注意事項	: 条紋から発生する裂果・ひび割れ部への腐敗性病害の侵入対策として有効。 条紋多発園で散布する。			

### ●今後の管理について

- \* 雑草管理 …主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしておく。  
バスタ液剤(前日、3回)  
10a 当り 水 100~150ℓに対し、バスタ液剤 500mℓ
- \* 見直し摘果…着果量が多い場合は、変形果などを中心に摘果しましょう。